

平成 26 年度 動物実験に関する自己点検・評価

I. ルール及び体制等の整備状況

1. 機関内ルール（研究機関における動物実験等の実施に関する基本方針（以下、指針という）に適合する機関内ルールが定められている。）
適正に定められている。
2. 動物実験委員会(基本方針に適合する動物実験委員会（研究活動推進委員会）がおかれている。）
適正に置かれている。
3. 動物の実験の実施体制（動物実験の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか）
適正に定められている。
4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制（遺伝子組替え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか。）
該当する動物実験は、行われていない。
5. 動物実験の飼養保管の体制（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、実験動物管理者が置かれているか。）
多くの改善すべき問題がある
 - ・ 評価結果の判断理由
動物実験の飼養保管施設が把握され、適正な飼養保管の体制であるが、動物実験等報告書の提出がされず、委員会からの指摘により平成 29 年 12 月 19 日に提出された。
 - ・ 改善の方針、達成予定時期
「東北公益文科大学における動物実験に関する指針」及び「東北公益文科大学研究倫理審査規程」について説明し、実験終了後速やかに動物実験等報告書を提出する必要があることを指導、認識させる。

II. 実施状況

1. 研究活動推進委員会（委員会は機関内ルールに定めた機能を果たしているか。）
多くの改善すべき問題がある
 - ・ 評価結果の判断理由
東北公益文科大学における動物実験等に関する指針（平成 22 年 1 月 28 日制定）及び東北公益文科大学研究倫理審査規定（平成 22 年 1 月 28 日制定）はあるが、動物実験実施の把握、審議がなされなかった。

- ・ 改善の方針、達成予定時期
速やかに、「東北公益文科大学における動物実験等に関する指針」「東北公益文科大学研究倫理審査規定」に基づく、適正な委員会活動を実施する。
2. 動物実験の実施状況（動物実験の計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか）
- 多くの改善すべき問題がある
- ・ 評価結果の判断理由
東北公益文科大学における動物実験等に関する指針（平成 22 年 1 月 28 日制定）及び東北公益文科大学研究倫理審査規定（平成 22 年 1 月 28 日制定）で定められているが、動物実験実施責任者が動物実験計画書を立案し、動物実験のための倫理審査を受審し、承認が必要であることの認識に欠けており、動物実験計画書及び動物実験等報告書の提出がなされなかった。
 - ・ 改善の方針、達成予定時期
「東北公益文科大学における動物実験に関する指針」及び「東北公益文科大学研究倫理審査規程」について説明し、動物実験計画書の提出、倫理審査（動物実験）の受審、さらに実験終了後速やかに動物実験等報告書を提出する必要があることを指導、認識させる。
3. 安全管理を要する動物実験の実施状況（当該実験が安全に実施されているか。）
- 該当する動物実験は、行われていない。
4. 動物実験の飼養保管状況（実験動物管理者の活動は適切か。飼養保管は適正に実施されているか。）
- 適切に実施されている。
5. 施設等の維持管理の状況（機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか。修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか。）
- 適正に維持管理されている。
6. 教育訓練の実施状況（実験動物管理者、実験者飼養者等に対する教育訓練を実施しているか）
- 多くの改善すべき問題がある。
- ・ 評価結果の判断理由
平成 26 年度からは、委員会から該当者に、関係する情報を提供し、組織的に教育訓練に関与したが、適正な動物実験に関する手順が踏まれなかった。より積極的な関与及びチェック機能並びに教育用資料等の整備が必要と判断した。
 - ・ 改善の方針、達成予定時期
東北公益文科大学における動物実験等に関する指針（平成 22 年 1 月 28 日制定）等を含む、関連の規程等を冊子にまとめ、次年度に向けての教育用資料として整備すること、動物実験委員会（研究活動推進委員会）内の動物実験に関するチェック機

能を強化し、委員 1 名を動物実験に関するチェック責任者として任命する。

7. 自己点検・評価、情報公開（基本方針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか。）

多くの改善すべき問題がある。

- ・ 評価結果の判断理由

「自己点検・評価報告書」を年度終了後速やかに自己点検・評価を行い、その結果を情報公開する必要があるにもかかわらず、人事異動、組織体制の変更等によって引継ぎが上手く行われず、作成・公開がされなかった。

- ・ 改善の方針、達成予定時期

平成 29 年度より動物実験委員会（研究活動推進委員会）委員に自己点検・評価、情報公開の担当責任者を任命し、チェック機能の強化を図る。

8. その他（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

平成 26 年度動物実験件数

1 件